

INTEGRATED REPORT

三菱倉庫 統合報告書

2024



パーパス

いつもを支える。いつかに挑む。 Supporting Today, Innovating Tomorrow.



三菱倉庫グループはこれまでの歴史を通して、事業の変革に挑みながら、
たゆまぬ努力で当たり前の毎日、社会や人々の生活を支えてきました。

予測困難な未来で、未だ無い価値を提供してこの先も社会を支えるためには、
一人ひとりが思い描く「いつか実現したいこと」に挑み続けることが必要です。

その成し遂げた「いつか」が、新しい「いつも」となり、明日を創っていく、
パーパスにはそのような想いを込めています。

これからも社会を支える存在として、変革に挑むDNAを受け継いだ社員が、
次の「いつも」を創り、そして支えていきます。

理念体系

パーパス

いつもを支える。いつかに挑む。
Supporting Today, Innovating Tomorrow.

ビジョン

MLC2030ビジョン

「お客様の価値向上に貢献する」を第一に、
お客様のパートナーとして調達から
流通・販売までのサプライチェーンを一貫で担うロジスティクス企業

バリュー

行動基準

企業理念

誠実かつ公正な企業活動を通じ、
適正な利潤の確保と会社の安定した成長を図り、
ステークホルダーの皆さまに報いるとともに、
豊かで持続可能な社会の実現に貢献する

三菱三綱領

「三菱三綱領」は三菱創業の精神であり、三菱グループ各社の経営の基本理念となっています。

所期奉公 (しよきほうこう)

処事光明 (しよじこうめい)

立業貿易 (りつぎょうぼうえぎ)

行動基準

- 1 わが社は、法令及びルールを遵守し、社会規範にもとることのないよう誠実かつ公正に企業活動を遂行する。
- 2 わが社は、適時適切に企業情報を開示し、広く社会とのコミュニケーションを図る。
- 3 わが社は、市民社会の秩序安全に脅威を与える反社会的勢力とは、引続き一切の関係を持たない。
- 4 わが社は、環境問題の重要性を認識し、環境保全の活動に協力する。
- 5 わが社は、安全、良質で社会的に有用なサービスを提供するとともに、地域社会、国際社会との調和を念頭に「良き企業市民」として社会貢献活動に努める。

三菱三綱領

所期奉公 (しよきほうこう)

事業を通じ、物心共に豊かな社会の実現に努力すると同時に、かけがえない地球環境の維持にも貢献する。

処事光明 (しよじこうめい)

公明正大で品格のある行動を旨とし、活動の公開性、透明性を堅持する。

立業貿易 (りつぎょうぼうえぎ)

全世界的、宇宙的視野に立脚した事業展開を図る。



Contents 目次

01 イン트로ダクション

- 01 パーパス・理念体系
- 04 編集方針
- 05 At a Glance

02 パーパス実現のための価値創造

- 07 トップメッセージ
- 13 価値創造の歴史
- 15 三菱倉庫の強み
- 16 価値創造プロセス
- 17 6つの資本（インプット）
- 18 サステナビリティ経営コンセプト ZERO+
- 19 顧客志向の高付加価値・高品質なサービス提供
- 22 危機管理・情報セキュリティ強化
- 24 経理担当役員メッセージ

03 MLC2030ビジョンに向けた戦略

- 28 MLC2030ビジョンと経営計画の全体像
- 29 経営計画[2019-2021]振り返り
- 30 経営計画[2022-2024]
- 32 DX戦略
- 36 事業概要
- 37 事業戦略
 - 37 倉庫事業・陸上運送事業
 - 38 港湾運送事業
 - 39 国際運送取扱事業
 - 40 不動産事業

04 マテリアリティ（6つの重要テーマ）

- 41 マテリアリティ（6つの重要テーマ）特定プロセス
- 42 マテリアリティ（6つの重要テーマ）に関連する施策と評価指標
- 43 マテリアリティ（6つの重要テーマ）ごとの取り組み
 - 43 安全・安心、災害対応
 - 45 環境対応
 - 51 先端技術、イノベーション
 - 53 パートナリシップ
 - 57 人材育成・社員満足度向上
 - 61 コンプライアンス、人権・ジェンダー

05 人的資本経営

- 63 人的資本経営
- 64 事業戦略達成のための人材の質と量の最適化
- 67 挑戦とイノベーションを促進する個人・組織の活性化

06 コーポレート・ガバナンス

- 69 社外取締役鼎談
- 73 組織統治（コーポレート・ガバナンス）
- 79 役員・執行役員紹介
- 81 リスクマネジメント
- 83 コンプライアンス
- 85 地域社会・国際社会への貢献

07 ファクト・データ

- 87 財務サマリー
- 89 ESGデータ集
- 91 国連グローバル・コンパクトへの支持表明
- 92 会社概要・株式情報

Major Update 主なアップデート

ポイント①

パーパス

これまでの歴史の中で創出してきた価値と、将来にわたって挑戦し続ける決意をステークホルダーと共有するためにパーパスを策定しました。

ポイント②

ビジネスモデル

パーパス実現に向け、事業活動を通してどのような価値を創出しているのか、価値創造の源泉やこれまで蓄積した強みは何なのかを解説しています。

ポイント③

人的資本経営とDX推進

中長期的な企業価値の向上のために注力している人的資本経営とDX推進について、考え方や取り組み状況をご紹介します。

編集方針

本統合報告書は、「ステークホルダーの皆さまに持続的な企業成長の可能性をお伝えすること」を目指して制作しました。初めに、本年策定のパーパスと理念体系をご紹介します。当社グループが目指す未来を示しました。続いて、その未来を実現するために、当社がどのように資本を強化し、ビジネスモデルを通じて新しい価値を提供していくかを価値創造プロセスの中で整理し、各要素について詳しくご説明しています。

当社は価値創造の源泉を人材と定めていますが、人的資本経営に加え、DX推進、パー

トナーシップ等の情報も充実させることで、社会課題の解決と事業成長のためにどのように挑戦とイノベーションを促していくかを具体的な事例とともにお伝えできるよう編集しました。

当社のビジネスモデル、価値創造の取組みとともに、当社へのご理解を深めていただければ幸いです。

今後も読者の皆さまのご期待に沿えるより良い情報開示に努めていきます。

対象範囲・期間

対象範囲 三菱倉庫グループを対象としています。
対象期間 2023年4月1日～2024年3月31日
(関連性のある内容については、一部この期間外の情報についてもお報告しています)

発行時期

2024年9月
(前回発行時期2023年9月／次回発行予定時期2025年9月)

参考にしたガイドライン

- 環境省「環境報告ガイドライン(2018年度版)」
- GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン GRIスタンダード」
- IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省「価値協創ガイダンス」



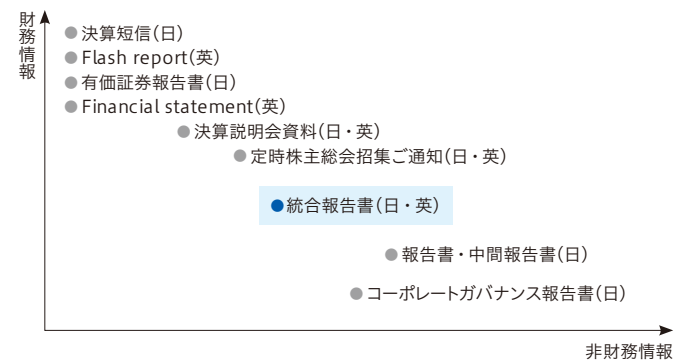
表紙について

サステナビリティ経営コンセプトZERO+(ゼロプラス)をデザインに反映しました。地球や社会にとって良くないこと(Minus)をなくす取組みに共通するキーワードをZEROとし、また、ZEROはゴールではなく、未来へのスタートであるとも考えています。

+ (Plus) には、2050年の先を超えステークホルダーの皆さまとPlusの世界を見据えて共創し、社会や人々の生活を支えるメッセージを込めています。



ツールマップ



Web

当社ホームページ上に各種データ等と
GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン
GRIスタンダード」対照表を掲載しています。

「ESGデータ集」
三菱倉庫HOME ▶ サステナビリティ ▶ ESGデータ集
「GRIガイドライン対照表」
三菱倉庫HOME ▶ サステナビリティ ▶ 統合報告書 ▶ GRIガイドライン対照表

At a Glance

パーパス関連データ

いつもを支える。

世界の物流拠点数



合計 **140**カ所

(国内90拠点、海外主要都市50拠点)

不動産施設の延床面積



約 **100**万m²

(2024年3月末時点)

従業員数(連結)



4,922名

(2024年3月末時点)

いつかに挑む。

DX・IT関連投資額(運用コスト等をふくむ)



2023年度 約 **48.9**億円
135.5億円

(2021～2023年度累計)

パートナーとの協創提携件数



10件
(累計運用額34億円)

(2021～2023年度累計)

MLCイノベーションプログラム
エントリーチーム数



36チーム
(2023年度)

三菱倉庫+国内グループ会社での
改善活動参加数

509グループ

(2016～2023年度累計)

財務データ (2023年度実績)

営業収益



2,545
億円

営業利益



189
億円

海外売上高比率



17.5%

ROE(自己資本利益率)



7.3%

At a Glance

パーパスを実現する事業

物流事業



高い安全性と品質を持つロジスティクスで顧客のサプライチェーンを守り
多様化する個々のニーズに応じた総合ソリューションサービスを提供

2023年度

営業収益

2,174億円 [構成比 84.9%]

営業利益

146億円

倉庫事業・陸上運送事業 ▶ P.37

港湾運送事業 ▶ P.38

国際運送取扱事業 ▶ P.39

不動産事業



不動産施設の開発を通じ、
豊かで持続可能な社会の実現に貢献

2023年度

営業収益

386億円 [構成比 15.1%]

営業利益

109億円

不動産事業 ▶ P.40